

研究基盤EXPO2024
第3回 研究基盤協議会シンポジウム

地域に貢献する研究基盤とは

～地域力向上における研究基盤リソース(ヒト・モノ・チエ)の役割を考える～

*研究基盤とは、研究や開発を支える研究施設、設備および技術などを示す総称です。

日時

2024年 **1月25日** **木** 10:00～17:30
開場 9:30

会場

沖縄県立博物館・美術館 (おきみゅー) 2階 講堂・1階 美術講座室
+ Zoom Webinars

今年度は琉球大学主催で研究基盤協議会シンポジウムを開催します。研究基盤協議会が一般社団法人になって初めてのシンポジウムです。研究基盤協議会の活動報告ほか、「地域に貢献する研究基盤」をテーマに講演、ポスターセッション、パネルディスカッションを行い、参加者の皆さんと一緒に地域力向上における研究基盤リソースの役割について考えてみたいと思います。ご参加をお待ちしております。

**参加費
無料**

事前登録
必要

対象

研究機器や大学技術職員に興味のある方、
研究開発を大学と共同でやってみたい方など

開催方法

会場とオンラインのハイブリット (会場150名 | オンライン500名)

申し込み

参加ご希望の方は、以下のリンクまたはQRコードよりお申し込みください。
申込締切：1/19 (金) ※会場参加は先着順となります

https://www.jcore2023.jp/application_expo2024/



お問い合わせ

琉球大学 研究基盤統括センター (受付時間 平日9:00～17:00)
TEL : 098-895-9078・8832 E-Mail : rfc-mgmt@acs.u-Ryukyu.ac.jp



主催



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

共催



一般社団法人
研究基盤協議会
Council of Research Infrastructures and Research Environment



研究基盤EXPO2024

研究基盤EXPO2024 第3回 研究基盤協議会シンポジウム プログラム

第1部

10:00 開会のあいさつ 木暮一啓 (琉球大学 理事・副学長)

10:15 研究基盤協議会 活動報告

研究基盤協議会は、文部科学省事業採択校有志を中心にした多様なステークホルダーが研究基盤を議論する新たな協議の場として令和3年1月に任意団体として設立され、約2年の活動を経て、令和5年1月に一般社団法人研究基盤協議会として法人化し、新たなスタートを切りました。これまで文部科学省「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン」への貢献など、一定の成果を得ております。本活動報告では、研究基盤協議会からの政策提言(案)や研究基盤に関する調査研究についてご報告いたします。

11:35 協力企業プレゼンテーション～最新技術情報と研究基盤戦略～
株式会社 島津製作所・株式会社 日立ハイテク

13:15 ポスターセッション(現地開催のみ)

14:15 <大学・研究機関等による研究基盤に関する取組や課題等の事例紹介>

第2部

昨今、様々な地域活性化の取組が行われる中で、地方大学にも積極的な地域貢献が求められています。その中で、大学の研究教育を支える研究基盤においても、地域の課題解決等にどのように貢献できるのかを考える必要が出てきました。そこで研究基盤リソースによる専門人材の育成や研究技術(ナレッジ)の提供、各種研究機器の整備や学外利用等の多角的な観点から議論を行うことで、研究基盤が地域力向上へどのように寄与できるのかを考えます。

14:30 講演(各15分)

青山 洋昭 (琉球大学 研究基盤統括センター 特命講師)

座喜味 肇 (沖縄県商工労働部ものづくり振興課 課長)

大原 三佳 (自然科学研究機構 分子科学研究所 協力研究員)

杉ノ内 萌 (株式会社Co-LABMAKER 取締役COO)

林 史夫 (群馬大学 機器分析センター 准教授
共同利用設備統括センター 総括推進室 マネージャー)

中西 洋貴 (富士通Japan株式会社 ソリューショントランスフォーメーション本部)

16:10 パネルディスカッション

地域力向上に大学の研究基盤リソースはどのように寄与できるのか?
ファシリテーター: 木暮一啓 (琉球大学 企画・研究担当理事)

17:10 講評 文部科学省 科学技術・学術政策局 研究環境課

17:20 閉会のあいさつ 江端 新吾 (研究基盤協議会 会長)

18:00~ 情報交換会 @ダイワロイネットホテル 那覇おもろまち (会費制・要申込)